



まちづくりイベントの開催

まちづくりシンポジウム 2018

～人と地域の個性が共演するプレイスメイキングのまちづくり～

主催：茨城県・下妻市・茨城県都市計画協会

■まちづくりシンポジウム2018

平成30年10月7日（日）“Waiwai ドームしもつま”において「まちづくりシンポジウム2018」を開催しました。今年、初の屋外施設での開催ならびに他のイベントとの共同開催となりました。

会場づくりから本テーマの「プレイスメイキング」が始まっており、事務局職員も椅子やテーブルの配置等について、渡准教授からご指導をうけ、プレイスメイキングを体験できました。



シンポジウムでは、まず、筑波大学の渡和由准教授、日本大学の三友奈々助教、(株)Waisports ジャパン代表の松田様が基調講演を行いました。

続いて、まちづくりの分野で幅広く活躍されている方や、地元下妻市でまちづくりに取り組まれている方々をパネリストに迎え、「プレイスメイキングのまちづくり」をテーマにパネルディスカッションが行われました。

当日は、県内外から約340名の方にご来場をいただき、参加者からは「今までのWaiwai ドームのイベントの中で一番充実した日だった」、「他イベントと同じ場所でのシンポジウムが、他にはなく、とても素晴らしかった」、「こんなに居心地のよい自由なシンポジウムはなかなかなく、いい経験になった」、「まちづくりの担い手の皆様の率直なお話を伺えて良かった」、「様々な立場の方からの意見が聞けて勉強になった」等々の大変好評な感想が寄せられました。

○基調講演①「プレイスメイキングとまちの枠組み」

講師 渡 和由 筑波大学准教授

- ・プレイスメイキングとは、一人ひとりが主体的に、心地良さを感じられる自由な居場所をつくること。
- ・賑わいは目的ではなく結果である。
- ・プレイスメイキングに向けた居場所づくりには、8つの場の要素がある。などの解説をいただきました。



【8つの場】 座り場、眺め場、囲い場、陰り場、食場、灯り場、話し場、巡り場

○基調講演②「プレイスメイキングとはー概念解説と先進事例紹介ー」

講師 三友 奈々 日本大学 理工学部 助教

ニューヨークのブライアントパークの先進事例や下妻での取り組み事例などを紹介しながら、プレイスメイキングの概念を分かりやすく解説をいただくと共に、「プレイスメーカー」の役割についてのご説明もいただきました。



○基調講演③「スポーツ×プレイスメイキングの可能性」

講師 松田 裕雄 (株)Waisports ジャパン 代表

そもそもスポーツのルーツそのものがプレイスメイキングであり、それは語源 (re-creation, des-port, gather men, re-sort 等) をたどれば一目瞭然であり、つまりは身体運動を通じたコモン空間である。日本におけるコモンのひとつ、小中学校の「体育・スポーツ環境」の効果的魅力度を高めることで「文化教育、郷土教育、社会教育、人格教育」を同時に推進できる可能性があるというご意見をいただきました。



○パネルディスカッション

「プレイスメイキングのまちづくり」

コーディネーター (敬称略)

渡 和由 筑波大学准教授

パネリスト

- 三友 奈々 日本大学助教
- 松田 裕雄 (株)Waisports ジャパン 代表
- 住谷 辰夫 しもつま3高 会長
- 齋藤 直美 しもつま3高
- 与儀 詠子 しもつま3高
- 大竹 英理耶 しもつま3高
- 井上 規 下妻市役所





西日が厳しかったため、参加者は自分の好きな場所(日陰)に移動。これもプレイスメイキング。

パネルディスカッションでは、まず、下妻市役所の井上様からこれまでの市の取組についてご紹介をいただき、その後、渡コーディネーターと7名のパネリストによる議論が行われました。



ステージ横で、子供達のゆか絵が行なわれ、参加者の皆様は、講演を聴きながらプレイスメイキングを体感しました。

パネラーの皆様からは、市民団体に入り、様々な活動をした中で

の、“プレイスメイキング”の経験談や課題についてご意見をいただいた後、「プレイスメイキングは、どこでも誰でもできるのか」や、「プレイスメイキングで大事なことは何か」などについて議論がなされました。主な意見としては、「キッカケがあれば、どこでもできる」、「とりあえずやってみる」、「自分たちが楽しいことをやってみる」、「参加者側の目線で考えると面白いことができる」などがありました。さらには、土日のイベント参加についての家族問題などの議論もありました。

最後に、三友先生からは、プレイスメーカーの役割というのは、地域のキーパーソンを見つけること。キーパーソン(団体)を見つけて、誰かと誰かをつなげる。また、行政は、キーパーソン(団体)がやりたいことを邪魔しないで、足りないことを補うことに徹すると色々なことが“プレイスメイキング”されていくとのアドバイスがありました。



ハロウィンイベント



こどもマーケット

松田先生からは、遊び心、遊びをつくり出す力が大事。「しもつま3高」などが中心になり、学校教育ににじみ出ていって、遊びを作り出せる人間を、とにかく、それも遊び心でやるみたいな。そんな取り組みをやってもらいたい。とのご意見がありました。

そして、渡先生から“プレイスメイキング”には、“ゆるい”遊びや憩いの感覚が大切で、好きなことを行う人を邪魔せず、集まる人が好きに楽しく自由に過ごせるよう、色々なプロジェクトを進めていくと、うまくできるようなになると思う。とのアドバイスがありました。

○第13回まち交大賞受賞記念

砂沼周辺地区事業で新規に発足したまちづくり団体への感謝状贈呈式

以下の3団体へ菊池市長より感謝状が贈呈されました。

- ◆女性ユニット「Shi♥shimai」
- ◆下妻市スケートボード組織設立準備委員会
- ◆まちづくり市民グループ「しもつま3高」

感謝状贈呈式の後、3団体から活動報告がありました。



菊池市長(右から2人目)と受賞者の皆様



Shi♥shimai
鈴木様



スケートボード組織
設立準備委員会
青木様



しもつま3高
会長 住谷様

○まち交大賞受賞プロジェクト解説ツアー

同日10時から、下妻市立図書館にて開催されました。

参加者の皆様は、熱心に解説を聞いた後、「スターバックスの中で世界一美しいと言われる富山市環水公園の店舗に勝るとも劣らない」という“さん歩の駅サン・SUNさぬま”の雰囲気を感じていただきました。



解説状況(図書館にて)



「サン・SUNさぬま」にて

